

デジタル化によって「こんなことができるんだ!」と閃く
ヒントを探るべく、福井商工会議所職員がデジタル技術の
活用を進める企業や施設を訪問し、レポートとして報告中!
その悩み、デジタル技術で解決できるかも!?



(株)ビジネス・アイ
代表取締役 栃川 昌文 さん

こちら デジタル活用 ビジネス支援センター

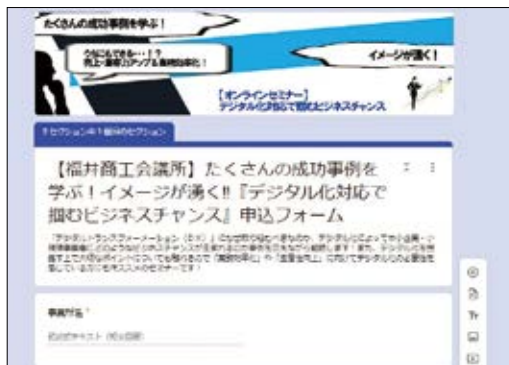
ITコーディネーターである栃川氏は、中小企業が抱える課題解決の選択肢としていろんなデジタルツールを紹介しています。ツールを活用する際は、自社の課題抽出を行った上で、導入の目的を明白にする必要があります。今回は、実際に企業から受けた相談事例をもとに、デジタル化推進のポイントを伺いました。

事例① 無料ツールでコスト、人的ミスの軽減に!

以前、旅行代理店(A社)の方より「ホテルから『お客様に喫煙の有無などの希望を確認した上で部屋を手配してほしい』と依頼されたが、従来のやり方では負担が大きい」と相談がありました。以前は案内文作成し、印刷・郵送をすべて手作業で行っていたようです。A社は私のところに相談に来る前に、アンケートフォーム付きのホームページを制作しようと考えていましたが、数十万円もの費用を見積もられ、コロナ禍で資金繰りが苦しく断念していました。

何に困っているのか整理すると「郵送してから回収、集計が手間、

「コストを抑えたい」といったキーワードが挙がりました。そこで、「Google」が提供する無料アンケートソフト「Googleフォーム」を紹介しました。Googleフォームはメール等でURLを送ればパソコンやスマートフォンから回答することができ、顧客が入力した回答は自動的に表計算ソフトに落とし込まれるので、紙で集計したものを「Excel」等に打ち込む手間も省け、変換ミスもなくなりました。最初は私が設定方法を指導して一緒に作成しましたが、その後は他の宿泊業者からの似たような要望にも従業員のみの対応できるようになりました。



当所でもセミナー申込の受付に Google フォームを活用しています。

事例② 目的を明確に コストをかける部分を検討

コーヒー豆専門店(B社)から「ECサイトを開設したい」という相談がありました。話を聞くと、店頭販売では商品が売れなくなってしまうので、コストを抑えつつ、なるべく早くネット販売を開始したいとのことでした。しかし、売れなくなってしまう商品だけをホームページ上で公開してもすぐに効果は現れません。そこで、マーケティングの基本にもとづき、「開設する目的」や「ターゲット層」、「自社商品の強み」等を洗い出すことにしました。

話をしていくうちに、「20〜30代の若者を新規顧客に取り込みたい」、「素敵な写真を多く使用してビジュアル的にPRしたい」という目的が定まってきました。そこで、無料で運用でき、若者の利用率が高い「Instagram」や「LINE」などの活用を提案しました。ホームページ開設費用を抑えたことにより、SNSアカウント周知のための広報費にコストを割く余裕が生まれ、短期間で販売実績を伸ばすこと

ができました。

ちなみに、最近ではネットショップを無料で立ち上げることができ、サービスもありますが、売上の数%が手数料として発生する場合がありますので注意しましょう。



商品を見栄え良くPRするのに適したInstagram。チャット機能もあるので、工夫次第で予約受付もできます。(写真は福井市内にある雑貨店「pottea」のアカウントより)

最初はコストをかけず、 徐々にデジタル化を広げる

今回、ITコーディネーターとしてデジタルツールの活用を勧めた相談事例を紹介しましたが、ツールの利用はあくまで手段であり目的ではありません。自社の課題解決や強みを

伸ばすという目的に応じたツールを選ぶことが大切です。「ニーズに合ったツールがない」、「コストがかかる」と悩む方もいますが、万能なものはありません。百点満点を最初から目指すのではなく、まずは一歩を踏み出すことを目指してください。

今回の事例では無料・低コストのツールを紹介していますが、まず無料のものでトライできることから着手することで、デジタルツールの導入および利用のイメージが掴みやすくなります。そこから、他に自社業務の中でデジタル化できることはなにか、視野を広げることにも繋がります。無料でできることに物足りなく感じてから(費用対効果に納得ができた)らコストをかけて、より使い勝手の良いツールの導入を検討してください。

我々IT専門家は、どのようなデジタルツールが利用できそうかアドバイスしますが、デジタル化の第一歩は業務の棚卸しから始まります。業務上で困ったことを気軽に相談して欲しいですね。その課題解決の糸口として、デジタルツールの活用を考えていきましょう。

ちこ デジ

番外編

レンタルスペースを
360度画像で紹介
します。

福井商工会議所が活用しているデジタルツールやデジタル活用ビジネス支援センターの取組みについて紹介します。

福井商工会議所では貸室サービスを提供しています。福井駅前からアクセスしやすいこともあり、県内企業だけではなく東京や名古屋、京都等県外の企業・団体からの利用も多く、セミナーや支店間会議、株主総会のほか、ドラマやCMの撮影にもご利用いただけます。

会場を借りる前に、下見のため当所ビルまで足を運ばれる方もいますが、遠方の場合、往復だけでも時間やコストがかかります。会場の広さや収容人数、レンタルできる備品等は電話で伝えることができますが、会場の雰囲気などは口頭で伝えづらいため、「Googleインドアビュー」を活用しています。

インドアビューは「Google



当所ビルのホームページでいつでも貸室の様子や設備をご確認いただけます→



ストリートビュー」の屋内版で、パノラマ写真で貸室内を撮影しており、Web上で360度見渡すことができます。当所ビルには現在8つの貸室がありますが、正面玄関やロビーの様子まで確認することが可能です。昨今のコロナ禍における営業活動に活用しています。

当ビルでは感染防止策を徹底し、皆様のご利用をお待ちしております。

お問合せ先

福井商工会議所 まちづくり・産業振興課

0776(33)8252